

製品名: CCDC102B ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08117**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	60kDa

抗原情報

遺伝子名	CCDC102B
別名	CCDC102B; C18orf14; Coiled-coil domain-containing protein 102B
遺伝子 ID	79839.0
SwissProt ID	Q68D86
免疫原	抗血清はヒト CCDC102B 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 81-130

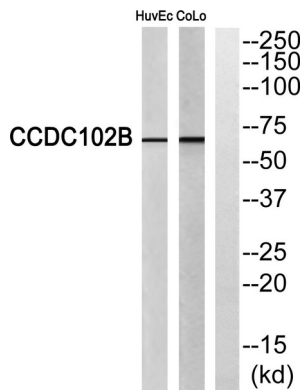
背景

CCDC102B (コイルドコイルドメイン 102B 含有タンパク質) は、AN、ACY1L、または HsT1731 としても知られ、513 アミノ酸からなるタンパク質で、3つの選択的スプライシングアイソフォームとして存在します。CCDC102B は広く発現し、複数の CNV (コ

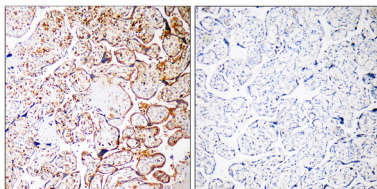
ピー数変異)領域に存在し、母性遺伝による2.7Mbの欠失の切断点を含み、ヒト染色体18q22.1にマッピングされます。CCDC102Bは、横隔膜ヘルニア、小眼球症、大腸癌、統合失調症の病因に関与している可能性があります。300以上の遺伝子をコードする18番染色体は、約7,600万塩基で構成されています。18番染色体と14番染色体間の転座は、癌における最も一般的な転座であり、濾胞性リンパ腫で発生します。ニーマン・ピック病、遺伝性出血性毛細血管拡張症、骨髄性プロトポルフィリン症は、18番染色体と関連しています。

研究分野

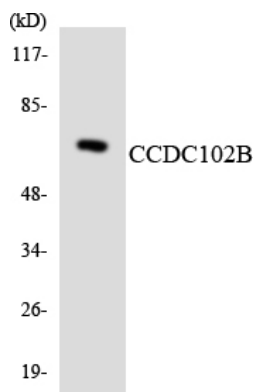
画像データ



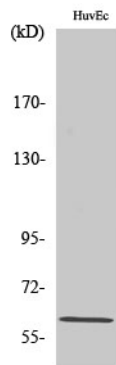
CCDC102B抗体のウェスタンブロット解析。右レーンはCCDC102Bペプチドでブロッキングされている。



CCDC102B抗体を用いたパラフィン包埋ヒト胎盤の免疫組織化学染色。右レーンはCCDC102Bペプチドでブロッキングされている。



CCDC102B抗体を使用したHUVEC細胞溶解物のウェスタンブロット分析。



CCDC102B ポリクローナル抗体を 1: 1000 に希釈して様々な細胞をウェスタンブロット分析した。